

月刊 かわごえ環境ネット

2015年7月号 No.105

<http://kawagoekankyo.net>

2015年7月2日発行 編集・発行：かわごえ環境ネット

コラム	会員訪問 環境事業について聴く (1) 初野建材工業株式会社	2
	私のエコ暮らし (12) 日々の生活でできること	3
	川越の自然を訪ねて (33) 2015年田んぼの生きもの調査 (植物編)	4-5
報告	かわごえ環境ネットの活動 (5題)	5-9
	会員・関連団体の活動 (4題)	9-12
	理事会・専門委員会からの報告 (5題)	12-15
予告	かわごえ環境ネットの主催・出展・参加行事	15-18
	会員・関係団体の主催・関連行事	19-21
	イベントカレンダー (7月1日~8月8日)	22

【巻頭言】環境によいこと、その一步は暮らしから—光熱費ゼロ生活4年目

かわごえ環境ネットの理事になって2年目を迎えました。どうぞよろしく願いいたします。

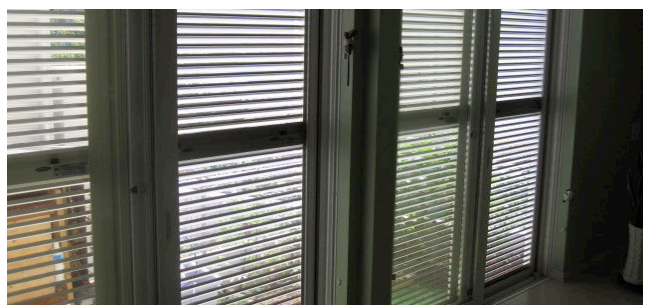
気象予報士として地球温暖化の啓発活動、幼児むけ環境教育活動など行ってきた中で、常に心がけていることは、自分自身の体験に基づく言動であり、言葉に力を添えて伝えることです。地球温暖化抑制にむけて、「エコライフや省エネを心がけましょう」と言っても、伝える本人がどれだけ実践しているかは、その言葉に込められた力で伝わります。また省エネを実践しなくとも、普通に暮らすことが省エネになることも伝えたく、2011年にエコ住宅を建てました。自立循環型住宅になるよう設計段階からお願いし、ハウスメーカーと共に使用する設備、窓の配置、風の流れ、照明器具の配置など13項目にわたり相談しました。自立循環型住宅とは、2000年に建築された一般の住宅による使用エネルギーに対して、使用エネルギー割合が50%以下になるよう設計します。設計段階では、我が家の使用エネルギーが2000年比-85%になるよう設計したエコ住宅を建てました。そして、転居して今4年目を迎えています。

我が家には、6kWの太陽光パネルを設置。この売電金額と比較すると、電気・ガス・水道の年間光熱費は売電金額を下回り、3年連続光熱費ゼロ住宅(2012年11,259円黒字、2013年97,247円、2014年84,272円)となっています。将来的には、購入金額も手が届きやすくなったら燃料電池や蓄電池の設置も考えており、オフグリッド生活も選択できるようにしたいと思っていますところです。

(かわごえ環境ネット理事 飯島希)



太陽光パネル



エコ雨戸

【コラム】 会員訪問 環境事業について聴く (1) 初野建材工業株式会社

かわごえ環境ネットに5月に入会された初野建材工業株式会社（以下「同社」）を、横山副理事長と6月3日に訪ねました。ちなみに事業者の会員は25社です。

当日は初野直樹社長と環境対策部の関素子さんが対応してくださいました。

同社の会社概要は

本社：川越市宮元町 82 番地 1

創業：父である前社長が 1957 年 10 月創業

事業：砂や砂利などの販売を行う建材事業

舗装工事や駐車場工事などを行う土木事業

六価クロム浄化剤の販売を行う環境事業

従業員数：13 名

社長室で会社の事業についての説明を受けましたが、特許を取得した六価クロム浄化剤「再生6出なし」とハイスpek化した「改良6出なし」についての商品説明がありました。

浄化剤は、2005年7月21日に特許を取得、第2回渋沢栄一ビジネス大賞を受賞している環境事業の商品です。

コンクリートの原料となるセメントには三価クロムが含まれており、セメントの製造工程で、その三価クロムが六価クロムに変化します。六価クロムは人体に有害とされ、セメントが固まりコンクリートになれば問題がありませんが、コンクリートを細かく砕いて再生砂や再生砂利にすると、六価クロムが外に出る恐れがあります。その有害な六価クロムを安全な三価クロム

に還元する浄化剤を、産学連携で東京工科大学の杉山教授との共同研究により開発し、特許を取得しました。

浄化剤はカビに似た長い菌糸と胞子を持つ「放線菌」、サトウキビから砂糖を精製する際の残渣（残りかす）を主成分にしているとのこと

です。バイオ技術で生まれたエコな製品です。
・「再生6出なし」はリサイクル建材である再生砂（コンクリートを細かく粉砕したもの）から溶出する6価クロムを還元する製品

・「改良6出なし」はセメント系固化材を使用した地盤改良工事（セメントを土中に直接投入）により土壌中に溶出される6価クロムを還元する製品

家を新築するとき、基礎地盤を強固にする地盤改良材を使用しますが、「改良6出なし」は懸念される六価クロムの溶出防止に使用し、土壌汚染対策法の基準を超え、人体にも有害な六価クロムを浄化することが出来ます。安心して子育てができる我が家になるとのことです。

同社の建材は意外なところでも活躍しております。日本相撲協会の地方巡業の土俵に使用する土、「荒木田」を納めています。

『“信頼され、集う人に安心を与える会社を目指す”という経営理念のもと、「何かあったら初野に相談しよう」と思われる会社でありたいと考えています』との初野社長の熱い言葉が印象に残る、90分の訪問時間でした。（菊地三生）



左から環境担当の関さん、初野社長



「改良6出なし」のサンプル

【コラム】私のエコ暮らし (12) 日々の生活でできること

本年度より企業会員として参加しております宮元町の初野建材工業(株)環境対策事業部の関と申します。

弊社は住宅建設に伴う地盤改良工事における土壌汚染の対策に取り組んでおります。

建物の荷重に耐えられるように軟弱な地盤を強固なものにするために行われるのが「地盤改良工事」ですが、ごく一般的なセメント系固化材を使用する工法によって、毒性の強い重金属「6価クロム」による土壌汚染の危険性があることはあまり知られておりません。

弊社はその問題の認知活動と対応策として6価クロムを3価クロムに変えて無害化する還元剤の使用の提案をしております。

実はこの還元剤の原料の主成分は植物由来の食品廃棄物なのです。本来捨ててしまうものが環境保全に役に立っているのです。弊社は「エコで地球に優しく」をモットーにこれからも弛まぬ努力を惜しみません。

さて今回は仕事とは別のプライベートでの日々の生活の中に見える「エコ」について触れたいと思います。

【コーヒー豆の行方】

我が家ではコーヒーをよく飲んでおります。知り合いの方に自家焙煎していただき、直前に挽いてから淹れています。豆挽き担当は小学生の息子です(笑)。コーヒーを淹れた後の豆は天日で充分に乾かし「脱臭剤」として利用します。

消臭効果もあり、コーヒーの香りもかなり残っていますので、お部屋の中の臭いの気になるところに置くと効果を発揮します。さらに、臭いを吸って乾燥が進んだら、土に混ぜて観葉植物等の土壌に再々利用します。

些細な取り組みですが食品廃棄物の再利用がごみの減少につながります。毎日コーヒーを飲んでいけば出がらしの豆の量も結構なものです。小さいことでも積み重ねが大事。そう思って身近にできることからやっといこうと心掛けています。



写真1 淹れた後も再利用 消臭剤などに



写真2 最後は「土」に還します

【これからの季節の電気代節約】

省エネ、つまり電気代を節約すると目に見えた形で分かるので達成感があります。我が家はオール電化ですので、すべてのエネルギーは電気です。こまめにスイッチを切る、湯温を1℃下げる、洗濯は夜のうちに等々、使い方を見直すと使用料も若干抑えられます。去年の同時期より少しでも減少しているとけっこううれしいものです。

昨年 6月分は28日間で	
ご使用量総計は	319kWhです。
今月分は1日あたり	8%減少しています。
燃料費調整のお知らせ (1kWhあたり)	
6月(当月)分	+0円89銭
7月(翌月)分	-0円16銭
翌月分は当月分比	-1円05銭

写真3 目に見える成果

(初野建材工業(株)環境対策事業部 関素子)

【コラム】川越の自然を訪ねて（33）2015年田んぼの生きもの調査（植物編） ～里山ハーブを観る味わう！／“食べる”生きもの調査へ！～



田んぼビオトープでのシロツメクサの採取



小畔川河川敷でのムラサキツメクサの採取



ムラサキツメクサのジャム作り



下ごしらえは参加者全員で取り組んだ



食事会

田んぼ・自然の恵み

市民調査としてここ3年間、田んぼ・畦・水路・周辺の動植物調査を短時間（約2～3時間）として行ってきました。田んぼの畦を中心として歩きながら色とりどりの花を咲かせた植物を採取してバットに色別に分類して同定していく方法で田んぼの豊かさを実感していこうという企画です。しかし、今年度はさらに、自然に学ぶ環境教育、楽しく、生きものとの交流・観察だけでなく、自然の恵みを味わう時間を“まとめ”にしようと企画を大きく変更しました。

植物調査と動物調査を分離しました。そして、田んぼがお米だけを作るのではなく、生きものと共生し共に育むことをより理解できる観察会へ、植物編では生態系サービスとして「食」への利用を“まとめ”として行いました。

かつて人びとは、田んぼを米だけをつくる場所としてだけでなく、地域一帯の里山・里地を利用して衣・食・住、暮らしと一体化していました。それぞれが商品化されたものを購入して成り立つ“豊かさ”ではなく、自然環境に溶け込み、自然の恵みとして共に暮らす心の“豊かさ”を伴った暮らしを工夫して積み重ねてきました。縄文の時代から数千年のなかで育んきた

ものが、ここ数十年で転換してしまうものでしょうか？

今年度は「食」をテーマとしましたが、みんなの知恵を出し合って暮らしにむずびつく衣食住・遊びの工夫等々様々な企画を創っていきませんか。

動物編では昨年から取り入れた、環境保全再生により興味を持ってもらうために“ゲーム的”評価法を加えた「まとめ方」で進めていくこととしました。

“食べる生きもの調査”と愛称

フィールドは吉田地域のかかわシェア田んぼ、みなみかぜ田んぼ、小畔川河川敷を調査・観察しながら、農薬を使用していないことを確認、毒草に注意して参加者全員で袋を持ち、観察しながら食べられる季節の植物の食材採取も同時に行いました。

調査・食材採取から調理まで食楽風土（クラフド）（林鷹央さん・徳永亜由美さん）が指導講師を務めました。また、みなみかぜ田んぼの会女性陣（5名）が早朝から地域食材を使い、休憩時の飲み物・軽食づくり（よもぎ団子、アメリカフウロ茶）と昼食の主食づくり（おにぎり・マコモパン）として活躍してくださいまし

た。

採取した野草の下ごしらえから調理までは徳永さん指導で全員参加し、お吸い物、ごま和え・お浸し、天ぷら、ジャム、など昼食のおかず、デザート（ゼリー）づくりを行い食事会（試食会）と「まとめ」を行いました。

5月8日事前調査・メニューづくりは5名が参加、17日はスタッフを含めて40名の参加となりました（うち「広報川越」応募11名）。9:00～15:00の①「調査・観察・採取」②「調理」③「食べる」3部構成の長時間企画となりましたが盛会に終了しました（②③の場所：伊勢原公民館調理実習室）。

《参考》 アンケートから（19名）

Q1.田んぼを散策して「植物調査」「野草（ハーブ）採取」はいかがでしたか？

1) とてもよかった：16、2) よかった：2、3) あまりよくなかった：0、4) 不十分だった：0

Q2.「軽食」「野草料理教室&試食会」メニュー・味はいかがでしたか？

1) とてもよかった：13、2) よかった：6、3) あまりよくなかった：0、4) 不十分だった：0

Q3.講師・スタッフのお話・お手伝いはいかがでしたか？

1) とてもよかった：16、2) よかった：1、3) あまりよくなかった：1、4) 不十分だった：0

Q4.全体を通して参考になりましたか？

1) とても参考になった：15、2) 参考になった：4、3) あまり参考にならなかった：0、4) 参考にならなかった—0

Q5.講師及び当会にご質問・疑問があればお書きください。後日ご返事いたします。

- ・次にイベントがあれば知りたい。
- ・春夏秋冬の食べられる野草を知りたい。
- ・このような機会はなかなかないので毎年開催してほしい。
- ・イベント情報をいただければ幸いです。
- ・やさしく、わかりやすく、親しみがわいた。ぜひ次回もお願いいたします。

（かわごえ里山イニシアチブ：田崎愛知郎）

【報告】かわごえ環境ネットの活動

上戸小「わくわくタイム」自然学習プログラム支援報告



観察の様子



最後のまとめで発表中



アリの菌

5月21日（木）の午前に東洋大学大越記念庭園において、上戸小学校4年生76名と先生2名プラス大人2名が、総合学習「わくわくタイム」の観察会を行いました。本会からは小瀬理事長、菅野、賀登、横山、森田の5名と一緒に庭園巡り・観察会をしました。

この支援も回数を重ね、多少ながら自然環境に目を向けた子どもたちが増えてくれたのかなと現場に立ち会う大人としては期待する活動で

す。例年より1か月早いので、昆虫は少なく、見つける物が少ないのではないかと心配しましたが、植物は25種類、虫は24種類見つけることができました。人数が多いと見つかるものです。今年のヒットは2つ、1つめは「タヌキの糞だまり」です。毎年「タヌキがいるのー？」と驚きの声があがります。小瀬理事長も実物は見たことが2回しかないそうですが、糞はありますから確実にいるんです。「見てみたーい。」

と思うのは私だけではないはず、夜の犬越記念庭園散策が必要かな？

もう1点は「アリの巣」のできごと。小さなアリが大きな繭を自分たちの巣に運び込んでいました。エサにするのだと思っていたら、児童の1人が「これは孵化して兵隊として働かせる大きなアリの繭」と教えてくれました。孵化した所が自分の巣なので、周りのアリも自分の仲間と思って働くそうです。アリは鏡を見ないから違いが分からないのでしょうか？ インター

ネットで調べたら「アリの奴隷化」でありました。児童に感謝です。同じ場所でも毎回新しい発見があって、本当に観察会は楽しいものです。

担任の先生が自然好きなこともあって、秋にも計画することになりました。「カメラマン」での参加もありですし、「一緒に虫探し」でも構いませんので興味のある方はご一緒してください。

下見、当日、児童とのふれあい、「認知症予防」ですよ（本当かな？）。

（横山三枝子）

トンボ（ヤゴ）調査—吉田の「みなみかぜ田んぼ」と湧水水路で



吉田白髭緑地の湧水での調査



田んぼビオトープでの調査



バットに集めたヤゴなど

5月27日（水）10時から開始、天気は快晴で30℃近くの暑い日。

調査場所は吉田の「みなみかぜ田んぼ」近くの吉田白髭緑地湧水水路、田んぼのビオトープ、および水田そばの水路の3か所でトンボのヤゴを調査しました。当日トンボを見ることができたので、近くの小畔水鳥の郷公園にトンボウォッチングに行きました。

講師は林鷹央氏で、参加者6名で網を使って

泥の中や水草の脇をすくってヤゴや水生昆虫を捕獲して、バットに集めて種類を同定しました。また、飛行しているトンボについては目で鑑定しました。その結果は表のとおりです。

トンボのほかにはアメリカザリガニが多く、田んぼに生息するアキアカネは見つけることができませんでした。（6月20日雨上がりの福原の畑と林で未成熟のアキアカネの群れが休んでいるのを見つけました）。（過昌司）

調査結果

調査ポイント	場所名	ヤゴ	トンボ
1	湧水水路	オオシオカラトンボ	コシアキトンボ
		シオカラトンボ	ルリボシヤンマ
2	はるみず田んぼ	ナツアカネ	
		イトトンボ (sp)	
3	水路	(なし)	
4	小畔水鳥の郷公園と水田		コシアキトンボ
			コフキトンボ
			シオカラトンボ
			アジアイトトンボ
			アオモンイトトンボ

全国一斉水質調査 (6月7日)



晴天の中での採水 (雁見橋)



雁見橋の水面からの高さは約 10m



水質分析の様子 (北公民館)

天気は調査日和で日陰がうれしい日曜日。朝 8時から市内の 6 河川で橋の上から川の水を採集して、水温を測定してからペットボトルにつめて北公民館で分析しました。

参加者は荒川水系 5 人、新河岸川水系で 8 名 (うち子どもが 1 名) で、合計 30 地点の採水を行うことができました。休日にも関わらず参加された方に感謝申し上げます。

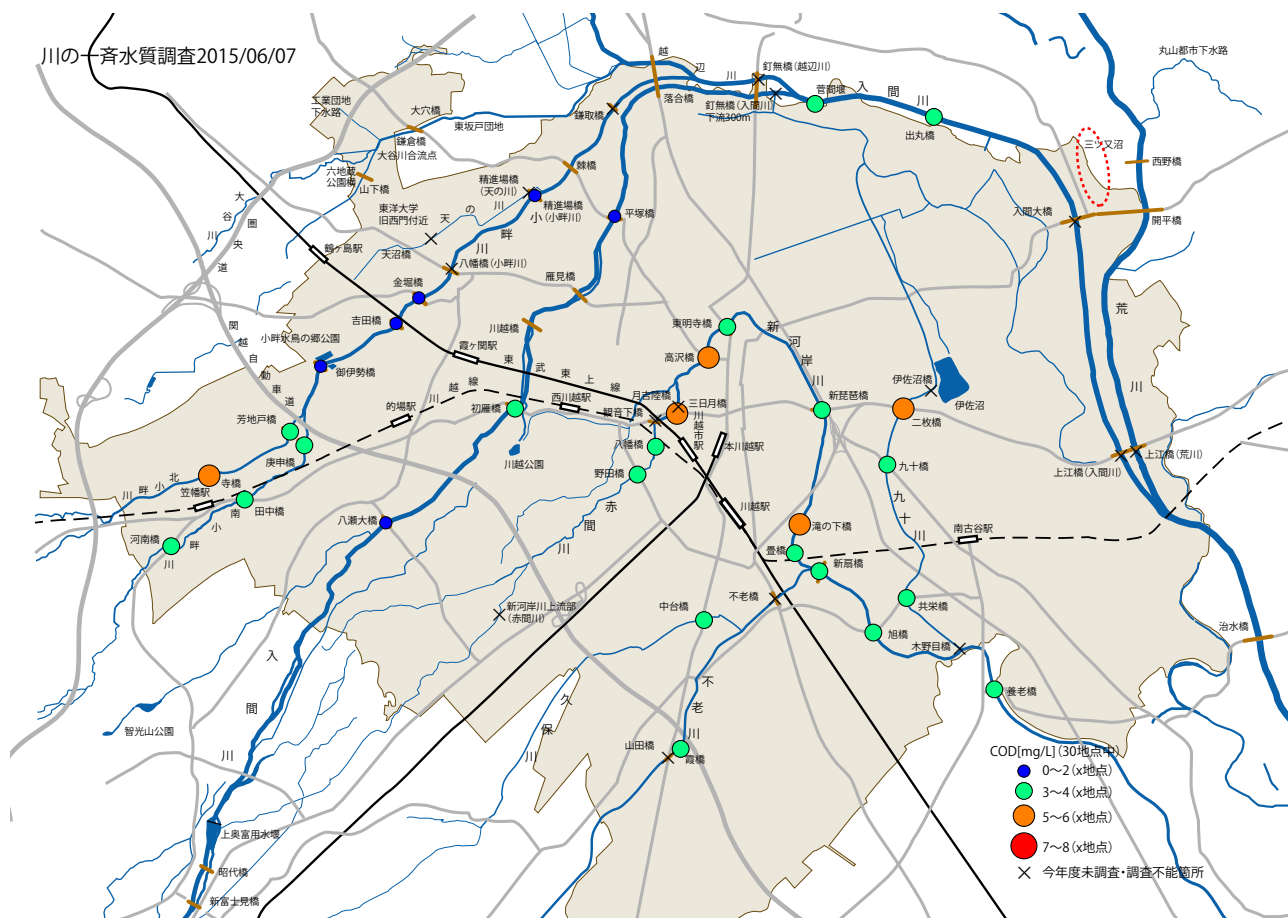
採水したサンプルは COD の分析キット (パックテスト) と EC (導電率) 計、透視度計を

使って参加者で分析しました。

入間川は 2 日前の雨水の影響が残り、九十川や新河岸川は、田んぼからの排水の影響で濁りが見られました。そして COD の数値も高くなる傾向でした。

透視度計は見る人によって異なるので、目のよい子どもにお願いしました。それでも濁っており、数値は小さくなります。でも大人も含めて大いに盛り上がりました。

(過昌司)



水質調査の結果 (2015年6月7日)

赤城山自然観察バスツアー報告

自然環境部会



赤城自然園で記念撮影

自然環境部会主催で6月4日(木)に「赤城山自然観察バスツアー」を実施しました。

今回の目的は、自然観察学習の一環で、群馬県の赤城山麓の「赤城自然園」(標高 600m)、高山植物や中層湿原から高層湿原の湿原植物の宝庫で「小尾瀬」とも称される「覚満淵」を訪ね、初心者も楽しめる植物観察を行うためです。

今回のバスツアーは前評判が高く、より多くの市民の方々に参加していただくため、急きよ大型バス(定員45名)に変更し対応しました。

晴天の絶好の自然観察日和のこの日、「赤城自然園」に向かい、担当の国兼さんの説明を受けた後、約60ヘクタールの広い園内を散策し植物観察をしました。

植物に詳しい自然環境部会の4名の案内で園内を歩き、ナルコユリ、フタリシズカ、ヤマブキソウなどの草花や樹木を観察しました。

昼食の後、レンゲツツジを見ながら、赤城山の標高約1360mの「覚満淵」に向かいました。



覚満淵を散策

6月初旬のためか残念ながら高山植物をあまり楽しむことができませんでしたが、地蔵岳と駒ヶ岳を望みながら淵の周りを散策しました。

帰りのバスの中、マイクを回し参加者の方々に感想を伺いましたが、今回の自然観察バスツアーに参加してよかったとの感想多数。特に自然環境部会の4名の植物の説明を受けながらの散策で、より植物を知ることができたとの感想が多くありました。今回のバスツアーにより自然観察に親しむ方々が増えたと思います。

最後に、今回の自然観察バスツアーの参加者により楽しんでいただくために、直前の6月1日に自然環境部会代表の賀登さん他で事前調査を実施しました。調査に基づき自然観察を楽しむための草花の写真チラシを賀登さんが作成、参加者に配布、3日目の草花の写真は好評でした。ちょっと大変ですが。(菊地三生)



賀登さんが作成した配布用写真チラシ

鶴巻史郎さんの俳句 当日の様子がよく伝わります。

一	赤城まで四十五名の観察会
二	山椒バラ 女性ファンに大人気
三	山法師 白き十字の美しさ
四	覚満淵 蓮華つつじの花盛り
五	赤城より 榛名妙義を一望す
六	赤城地蔵 猪谷千春の育成地
季	猪谷千春(一九三二年生まれ、一九五六年の冬オリンピックで日本人初のメダル獲得)

安比奈親水公園でのゼフィルス調査

自然環境部会

安比奈親水公園でのチョウの調査 (5月29日)

No.	チョウの名前	科の名前	頭数
1	ナミアゲハ	アゲハチョウ	1
2	アカシジミ	シジミチョウ	1
3	ベニシジミ	シジミチョウ	2
4	ミズイロオナガシジミ	シジミチョウ	1
5	ヤマトシジミ	シジミチョウ	2
6	スジグロシロチョウ	シロチョウ	2
7	モンキチョウ	シロチョウ	1
8	モンシロチョウ	シロチョウ	8
9	ダイミョウセセリ	セセリチョウ	1
10	アカボシゴマダラ	タテハチョウ	1
11	コミスジ	タテハチョウ	2
12	サトキマダラヒカゲ	タテハチョウ	5
13	テングチョウ	タテハチョウ	2
14	ヒオドシチョウ	タテハチョウ	1
15	ヒメアカタテハ	タテハチョウ	2

5月29日、安比奈親水公園において、ゼフィルス（シジミチョウ科ミドリシジミ属に属するチョウの総称で、日本では25種ある）調査を行いました。

薄曇りで風がなく暑くない比較的良好な条件での観察となりました。毎年観察を積み重ねているので参加者もチョウに親しめてきています。初めに、猪俣氏から安比奈親水公園で今年採集した実物標本を見て説明してもらおうと、一層チョウについてわかります。

捕虫網をもって水路沿いを探します。眼につくのはモンシロチョウで、比較的太陽がなくとも活動的です。曇りでチョウの飛翔も少ない中、小川のそばでミズイロオナガシジミを見つけま

したが捕獲できませんでした。あとはニワウルシの林沿いに休息しているチョウを見つけ、捕獲して解説してもらいます。

クワやクヌギにキマダラヒカゲが、竹林を抜けて土手を歩くとクワの実の甘酸っぱい香り、花や樹液だけでなく、地面でつぶれたクワの実にチョウがきます。帰りは少し明るくなったのでチョウの活動が少し盛んになり、多くのチョウを見ることができました。お目当てのゼフィルスは2種類のみでした。

エノキにヒオドシチョウを見つけ捕獲を試みたのですが、残念にも採集できず、飛び去ってしまいました。

最後に、猪俣氏にまとめてもらい、感想は、「くり返すことでチョウがわかってくる」、「この観察会をきっかけにしてチョウに関心をもてる」の意見が出されました。次回は観察の手引きを準備して、10月に秋のチョウを観察することになりました。

この他には、トンボでカワトンボ、ハグロトンボ、シオカラトンボを見つけることができました。
(猪俣昇、過昌司)

【報告】 会員・関連団体の活動

高梨田んぼ 手植え田んぼ

6月7日（日）は、昨年から関わり始めた福田の「高梨さん家の田んぼ」で2回目の手植え日でした。参加者は協力者を入れて60名でした（Facebookでは56名としてしまいました）。

今年は「福原エコクラブ」の小学生たちや、田んぼブラザーズに加えて、取材の白井さん、海外青年協力隊参加予定の宮本君、会員の加藤さんなどの男性群が加わったので、参加者の平均年齢がぐっと上がり、昨年とは違った様子で

した。指導者は朝日さん。子どものころは学校に行く前に田植えをしていったそうで、植える姿がカッコイイ。現在は機械での田植えが当たり前なので、人が並んで田植えをする光景はイベントになってしまいます。しかし、米（田んぼ）が自然環境にも重要な役割を果たしていることを伝える手段としては最も効果的と思い実施しているのです。「美しい日本は私が作っています。」と高梨さんは冗談めかして言いますが、

本当に田んぼ農家さんが川越の緑に寄与しています。

今年の苗は4月18日(土)に行われた「有機稲作ポイント研修会」で稲葉光圀氏が指導のもと作られて、大きくなったものです。1本1本が大きくて立派です。代掻きをした田んぼはたくさんのコナギが表面に浮かんでいて、水中はトロトロです。泥パックって感じでした。作業は1時間半ほどで終わりました。参加した子どもたちは、水田の中でオタマジャクシ、ヤゴ探



真ん中から一斉に植えていきます

し、水路でも魚探し、「ドジョウは？」と福田の田んぼ環境を楽しんでいました。参加者はお弁当を食べた後も、田んぼの周りでひとしきり遊んでいました。

次回は7月4日(土)10時から「田んぼの生きものしらべ」です。講師は、昨年同様「食楽風土」(クラフード)の林鷹央氏です。マコモタケの田んぼではトンボのヤゴが多数いるようで、どんな生き物と出会えるのか、楽しみです。希望はミズカマキリかな。(横山三枝子)



昨年はベビーカーで寝ていたS君 今年立派な働き手

各地区連携田んぼで田植えが行われました



吉田の田んぼで田植えを楽しむ家族



かわわシェア田んぼの田植え

かわごえ里山イニシアチブ



福田の田んぼで泥パックをしながら手つき良く田植えをする女の子

笠幡、吉田、福田の各地区の連携田んぼでは、5月31日、6月6日、6月7日と恒例の手植えによる田植えが行われました。各地区とも、お天気にも恵まれ大勢の参加者で賑わいました。

笠幡の東洋大の笠幡水田再生プロジェクトでは学生15人、高校生1人を含め総勢27名による田植えが行われ、午前中2時間で田植えが終了し、おにぎりやパンの差し入れもあり大いに盛り上がりました(6月号既報)。

吉田のみなみかぜいきいき田んぼの会の田植

えは、雨というこれまでのジンクスを見事に破り晴天に恵まれ、午前、午後を合わせて総勢100人を超える参加者となりました。

特に、みなみかぜは特別養護老人ホームということもあり、今年は施設の利用者さんの見学があり、普段外に出られない施設のみなさんにとって良い気分転換になったようです。

吉田のかわわ(川越の輪)シェア田んぼでは、かわわの会員や一般参加者を含め50名が田植えを楽しみました。「湿地のグリーンウェイブ2

015」で広報したこともあり、横浜や東京、ドイツ人ファミリーの参加もあり、こちらもまた賑やかな田植えとなりました。

福田の田んぼでは、60名の参加で大人も子供も泥だらけを楽しみました。福田の田んぼは、入間川から洪水の都度、流れ込んだ泥や古代からのマコモ層のおかげで、トロトロ層という粒子の細かい良質の泥の層で形成されており、大人も子供もこの気持ちのよいトロトロ層の泥パ

ックのような感触を楽しみました(上記に詳報)。

かわごえ里山イニシアチブでは、各地区の連携田んぼで生きものしらべを7月4日、5日にかけて行います。

無農薬田んぼでどの程度の生きものの賑わいが戻ってくるかを、生きものの種類で評価します。川越の地でこのように無農薬田んぼが広がれば、コウノトリの生息可能な環境も夢ではありません。(増田純一)

チェーンソー講習会・安全伐採研修会

6月20日(土)・21日(日)の2日間、東洋大学川越キャンパスの森を生物多様性豊かな里山にする活動を市民・大学構成員との協働で行う「こもれびの森・里山支援隊」の主催する初心者向け「チェーンソー講習会・安全伐採研修会」が開催され、18名の参加者がありました。

1日目は、川越市に本社のある農林・造園機器メーカーのハスクバーナー・ゼノア株式会社から4名の講師が来られ、チェーンソーの仕組み、装備、基本操作、目立ての方法までを講習していただきました。

2日目は、こもれびの森・里山支援隊の構成員でもある塚本秀貴さんの指導の下、安全に立木を伐採するための基本動作から仮想立木を用いた追口、受口の作り方の実習を行いました。

私はこの1年間、初心者ながら手鋸を用いて森林施業に取り組んできましたが、今後、活動

こもれびの森・里山支援隊

を継続していくには、チェーンソーは欠かせない道具になることを実感して、思いを新たにしました。

次回は、夏期の植物相調査を7月21日(火)9:00-16:00に、公開の森林施業日が7月25日(土)9:30-15:00となります。午前、午後のいずれかの参加も可能です。なお、今回の講習会を受けていない方、チェーンソーを扱ったことがない方は手鋸や剪定バサミを用いることとなりますが、1本1本の木と向き合いながら、自然の中での施業はなかなか楽しいものです。ぜひご参加ください。詳しくは、本紙の「おしらせ」並びに「こもれびの森・里山支援隊」ホームページ(<http://ameblo.jp/komorebi-satoyama/>)をご覧ください。

(小瀬博之)



座学でチェーンソーの基礎を学ぶ



参加者と講師の集合写真



回し切りの実習



チェーンソーの刃の目立てを学ぶ



塚本講師による指差確認



仮想立木による安全伐採実習

認定 NPO 法人環境ネットワーク埼玉年次総会の報告



総会の様子

認定 NPO 法人「環境ネットワーク埼玉」の平成 27 年年次総会が 6 月 21 日（日）に浦和の埼玉会館で開催されました。

同団体は平成 17 年に地球温暖化防止を始めとして環境保全活動を推進するために設立され、かわごえ環境ネットも会員になっています。

総会の前に、本間岳史氏（埼玉県自然の博物館前館長）が「埼玉の大地の成り立ちとジオパーク」の演題で記念講演を行った。「今の埼玉は



かわごえ環境ネットの紹介をしました

海なし県であるが、その昔は海あり県でした」との内容は、飽きのこない 90 分の講演でした。

総会は前年度の事業報告・決算と本年度の事業報告・予算が承認されました。

その後、事務局の新人 3 人の紹介、会員各団体の活動報告が行われました。月刊かわごえ環境ネット 6 月号を参加者全員に配布し、活動の紹介をしました。

（菊地三生）

【報告】総会・理事会・専門委員会からの報告

理事会

第 4 回理事会は、6 月 23 日（火）10:30-12:00 に川越市役所地階修養室において開催されました。

全体事業もスムーズに動き始めて、6 月 7 日には全国一斉水質調査も事故なく終了して、8 月のエコプロダクツ川越 2015 へ向けて企画案もまとまりました。

前回の会議の確認をしてから、討議事項と報告事項に分けて議論しました。

- ①エコプロダクツの出展内容が確定しました。
- ②環境ポスター展に引き続き環境ネット賞を贈り、理事会終了後に選定することになりました。
- ③第二次川越市環境基本計画年次報告書「かわごえの環境」（第 9 号）への執筆依頼があり、全体事業については理事で分担し、部会の活動は部会に執筆してもらうことになりました。

④本会のホームページの容量が余っているのでその利用について広報委員会で検討することになりました。

⑤会計処理の変更は監事と事務局および部会の会計担当と話し合っ決定することになりました。

⑥（仮称）第三次環境基本計画について、これまで検討してきた「行政への提言」と「多様性保全への要望」を 6 月 11 日に環境政策課に提出しました。

⑦小畔水鳥の郷公園でトンボ調査を行うために下水道維持課への依頼書を承認しました。

⑧水辺と川の小委員会からの水質調査結果、トンボ調査結果、新河岸川いい川づくり連絡会、川越県土整備事務所との市民懇談会の報告を受けました。

⑨社会環境部会から環境施設めぐり（バスツアー）の報告がありました。（副理事長 過昌司）

「エコプロダクツ川越 2015」出展実行委員会

「エコプロダクツ川越 2015」出展実行委員会を、6月23日（火）9:00-10:30 市役所地下修養室において開催しました。出席者は事務局を含め8名でした。主な議事は次の通りです。

- ①チラシ用キャッチフレーズの提案依頼があり、夏休み中の自由課題になるように「夏休み研究あれこれ・ペットボトルロケット」とした。
- ②出展レイアウトは2F奥のスペースで昨年より1室多くなった。
- ③会場準備は8月1日（土）10:00-12:00で資材の搬入等を行う。
- ④備品については既に横山委員長が手配した。
- ⑤当日8月2日（日）は8:30から準備できる。当日準備を予定する方は9:30までに済ませてほしい。10:00～15:00 イベント。片付け後解散
- ⑥社会環境部会の出展内容が固まった。“ごみを

資源に” “省エネ、自然エネルギー、節電等”

その中で外部より「各種発電模型による電気の勉強」の講師を招く。謝礼することを了承した。

⑦今回は事業所のポスター展示を行う予定。5社は参加、2,3社は検討中である。

⑧今後の予定

i)7月7日（火）下見 9:00-11:00 つばさ館

ii)7月10日（金）ペットボトルロケット発射実験 10:00-12:00 つばさ館屋外会場

iii)7月21日（火）9:00-10:30 事業運営委員会の中で進捗状況を確認し、8月2日を迎える。

*お願い「当日お手伝いしてよいよ」という方は、川越市環境政策課（電話 049-224-5866）まで連絡をお願いします。詳細は追って連絡させていただきます。

（横山三枝子・村上正明）

社会環境部会

6月定例会は6月12日（金）福田ビル3階にて11名の参加で行われました。最初に理事会の報告、総会の報告が原嶋代表よりありました。

1. 7月19日（日）の郊外まち美化クリーン活動の告知があり、より多くの参加への呼び掛けがありました。
2. 9月5日（土）の環境施設めぐり（バスツアー）が東京都水の科学館、葛西臨海水族園に決定し、早急に準備に入ることになりました。
3. 8月2日（日）エコプロダクツ川越 2015の取り組みについて討議しました。テーマ「ごみを資源に」で様々な意見が出ましたが、先月社会環境部会として決まった、節電（エコチェッカー使用）、環境家計簿の展示、緑のカーテン展示とデモ、廃油石けん作り、箸作り体験でしたが今回、宮崎さん推薦、「手作りエネルギーの体験」イベントを追加することになりました。

新たに紙の分別、生ごみ処理、ミミズでの生

ごみ処理など、社会環境部会が取り組む課題として「ごみを資源に」をテーマとして取り組んで行くことになりました。また、7月7日の会場下見には都合のつく人は出席し、展示場の確認をしようということになりました。

4. 11月28日（土）予定している環境講演会の講師を早稲田大学院環境エネルギー研究科の「小野田弘士」准教授にお願いすることになりました。交渉は宮崎さんに担当していただきます。

5. 広報原稿（エコ暮らし）の月別担当、6～9月までの担当を決めました。

次回7月の議事進行役は武田侃蔵さん、7月号のエコ暮らしは関さん（初野建材工業）が担当することの了承を得ました。

（社会環境部会 代表：原嶋昇治、
報告：井口吉三郎）

自然環境部会

6月例会は12日(金)福田ビル3階にて9名の参加で開催された

1.活動報告

- ①「(仮称)川越市森林公園」計画地定例調査・保全活動 5/11(月)11名参加:キンラン、ギンラン調査、5/25(月)14名参加:第2ふれあいの森選択的草刈り、6/8(月)13名参加:イチヤクソウ、トンボソウの希少種調査
- ②池辺公園定例活動 5/12(火)6名参加、6/2(火)7名参加:オニノヤガラ確認
- ③キノコ学習会 5/18(月)「(仮称)川越市森林公園」計画地にて 講師:西田誠之氏、参加10名
- ④トンボ(ヤゴ)の調査 5/27(水)講師:林鷹央氏、参加6名、みなみかぜ田んぼ、小畔水鳥の郷公園でヤゴ4種、トンボ6種、その他の生き物多数。

き物多数。

⑤チョウ(ゼフィルス)調査 5/29(金)安比奈親水公園、講師:猪俣昇氏、チョウ16種のうちゼフィルスはアカシジミ、ミズイロオナガシジミの2種

⑥田んぼの生き物調査報告・・・本紙記事参照

2.協議事項

- ①過去の埼玉県昆虫調査記録誌の購入について・・・生き物データベースに反映することで了承された。
- ②自然環境部会の予算で購入した資材についてのリストをつくることになった。
- ③第二次川越市環境基本計画年次報告書「かわごえの環境(第9号)」についての執筆依頼について了承された。

(自然環境部会代表 賀登環)

かわごえアジェンダ21推進委員会

2017年度の川越市環境行動計画「かわごえアジェンダ21」改訂に向けた「新かわごえアジェンダ21検討会」(第3回)を6月26日(金)17:00-19:30に東洋大学川越キャンパス福利厚生棟第5会議室において開催しました。出席者は8名でした。主に「協働で取り組むべき10の重点プロジェクト」の内容の確認を行いました。

主な審議結果は次のとおりです。ここでは、Wiki(<http://wiki.kawagoekankyo.net/>)のメモを抜粋して取り上げます。原本の川越市環境行動計画「かわごえアジェンダ21」(<http://www.city.kawagoe.saitama.jp/jigyoshamuke/kankyo/agenda21.html>)の9・10ページと併せてご覧ください。

1.省エネルギーとエネルギー転換によるストップ地球温暖化

- 普及活動の実施
- グリーンカーテン、エコドライブ...
- 小水力---川越は望み薄
- 太陽光:かわごえ環境ネットとしての組織的な活動には至らず

2.ごみ減量と資源化でものを無駄にしない社会に

- 家庭ごみ由来のたい肥の農業での使用は厳しい状況
- 生ごみのたい肥化は手間がかかる...自家処理はよいが、生ごみを集めて回るのは厳しいのでは(においなど)
- 減量---水分を減らす(乾燥)、買い物の工夫
- 普及活動を展開すれば可能性はあるが、関心が高まらない状況
- 家庭レベルでの取組の推進が必要か?

3.自動車を使わなくてもよいまちに

- 川越は自転車を使う人が多いが「危険」
- 「自転車シェアリング」は時間が読みやすい、乗り捨てできる。
- 自動車を使わざるを得ない状況(自動車 v s 自転車、自転車 vs 歩き)
- 「中心市街地」の話が中心になっている。
- 「自動車を使わなくてもよいまちに」は無

理がある。

- 環境に配慮した自動車利用「エコドライブ」あたりが落としどころか。

4.水環境と水辺環境を守って川越らしさを将来に伝えよう

- 舟運---観光用
- 河川用地が限られていることが要因
- 川の生きもの環境は改善された(魚道改善によるアユの遡上)
- 川に「川越らしさ」はあるのか?
- 湧水は改善状況にない
- 伊佐沼は改良されたが整備により野鳥減少

5.緑の保全と食家に寄って人と野生の生きものが暮らしやすいまちに

- 「生物多様性」という用語を使用したほう

がよい

- 在来の自然景観を保つ
- 里山の価値の発見、取組
- 「緑化」についてここで扱うのは無理があるかもしれない

10項目にないもの

- エコツーリズム&ローカルヒストリー(地元学) --- 「伝承」
- 「市民参加」で川越の自然を記録(8.の発展形)

これまでの審議経過や現行計画の「かわごえアジェンダ21」の作成経過など、詳しい内容は、Wiki ページ (<http://wiki.kawagoekankyo.net>) にありますのでご覧ください。次回の検討会は7月24日(金)17:00-19:00です。自由討論です。お気軽にご参加ください。(委員長 小瀬博之)

【予告】かわごえ環境ネットの主催・出展・参加行事

トピック① 気温等観測調査の参加者募集

環境政策課

川越市では、昨年度に引き続き、平成27年度川越市市民環境調査の一環として、市内の気温等観測調査を実施したいと考えています。

著しい気温の上昇に対し、市民の方と協働で、周辺環境の気温、湿度や日射・照り返しなどの輻射熱を取り入れて計算される WBGT(暑さ指数)をさまざまな条件のもとで計測するとともに、調査者が感じる暑さ(体感温度)を把握し、熱中症対策、アメニティの確保等に役立てていきたいと考えます。

つきましては、気温等観測調査に御協力いただける方を募集します。また、昨年度に御協力いただきました皆様におかれましては、今年度

もぜひ御協力をくださいますようお願いいたします。

【日時】

平成27年8月3日(月)~7日(金)
午後2時と午後8時の1日2回(予定)

【場所】

自宅周辺の数か所

【対象】

かわごえ環境ネット会員の方

【方法】

熱中症指数計による測定

※計器は、事務局から貸与します。
【申込み】7月3日(金)より、川越市役所環境政策課 電話(224-5866)にて受付。
※お申込みくださった方は、後日説明会に御参加願います。

トピック② エコプロダクツ2015川越によるこそー8月2日(日)つばさ館にてー

今年で3回目の開催となる川越市主催の環境イベント「エコプロダクツ川越2015」が、8月2日(日)10:00-15:00に環境プラザ「つばさ館」(川越市鯨井782-3)で開催されます。

毎年出展内容は変わりますが、児童に環境を

アピールする場として、日頃の会議などでお目にかかれない方達との交流の場として少しずつですが、内容が豊かになってきました。

今回も、ワークショップをメインにして出展します。内容は以下の通りです。

1. 本会の活動や、協賛企業の環境活動のパネル展示

2. 「ごみを資源に」

- ・ミミズによる生ごみの堆肥化
- ・天ぷら廃油を使った石けん作り
- ・生ごみの減量化
- ・アクリルたわし
- ・キャンドルづくり（使用済みのウエディングロウソクの再利用）

・間伐材を用いたハシづくり

・ペットボトルロケット制作と飛ばし実験

・東洋大学構内の保全活動と（仮称）川越森林公園計画地で発生した間伐材を使った工作（ぶんぶんゴマ、輪投げ他）

3. 「電気を大切に」

- ・環境家計簿
- ・緑のカーテン
- ・各種発電型による電気の勉強
- ・ワットチェッカーによる節電実験

会場の確認は7月7日（火）9:00から行います。必要と思われる方は参加してください。

（横山三枝子）

トピック③ 夏の郊外クリーン活動（7月19日「やすらぎのさと」スタート）


2015年6月10日

夏の郊外 クリーン活動のお知らせ

かわごえ環境ネットは年に3回のクリーン活動を実施しています。7月19日（日）に今年最初の活動を行います。多くの方の参加をお待ちしております。

日 時 7月19日（日）
予 定 9時30分 「やすらぎのさと」入口に集合 案内図をご覧ください。
 トング・ゴミ袋を参加者に配布後、グループ毎に活動開始
***グループとコースは指定させていただきます。**
 11時30分「やすらぎのさと」で分別、冷茶を飲んで解散いたします。
参加申込 7月16日までに ● 武田 携帯 098-2521-5770
 着地 携帯 080-5546-2362

2014年の活動の写真



活動場所案内図



● 集合場所
 --- 活動ルート

かわごえ環境ネット

かわごえ環境ネットは年に3回のクリーン活動を実施しております。暑い最中ですがエクササイズの効果もあるクリーン活動に、今年も多くの方の参加をお待ちしております。

日時：7月19日（日）9:30-11:30

集合：9:30 川越市民聖苑「やすらぎのさと」入口
 活動道具：参加者にはトングとゴミ袋を支給します。

活動内容：9:30に3方向に分かれ「やすらぎのさと」・「川越警察署」近辺の道路を活動しながら、11:30に戻り分別し、会議室で冷えた麦茶を飲みながら談笑し解散します。

参加申込み：参加希望者は7月16日までに武田（Tel.090-2521-5770）までご連絡ください。

その他：案内チラシはかわごえ環境ネットのホームページでダウンロードできます。

トピック④ 虫の観察会（7月26日）

自然環境部会



「虫の観察会」は10年以上続いています。多様な種類の虫を見つけるのは街中では難しいですが、雑木林ではまだまだ生息しています。

昆虫の専門家の講師をお願いし、チビッコたちが捕まえた虫の話をしてもらっています。近年はクモに詳しい方もお願いして同定しています。調査ではないので参加者でその時見つけた物だけですが、毎回40種以上の虫に出会えます。

日時：7月26日（日）9:00-12:00

集合：南文化会館（ジョイフル）会費 100 円

申込：7月1日（水）から環境政策課（049-224

講師：大塚豊氏、谷津弘子氏

-5866)

トピック⑤ 新河岸川景観づくりの講演会 7月26日（日）ウエスタ川越

新河岸川広域景観づくり連絡会主催、西埼玉温暖化対策ネットワーク等の共催で、新河岸川の川越市から富士見市までの上流部分の景観をめぐり、埼玉県景観アドバイザーで日大工学部教授岡田智秀さんの講演があります。ウエスタ川越3階の、川越市男女共同参画研修室2・3号室で、13:30 から3時間、事前調査の豊富な

データを映しながら、CG を駆使して理想の景観を作るなど、昨年の朝霞市での下流部の講演に続く異色の講演会です。資料代300円、定員60名。申し込みは川越担当の武田まで。7月10日より受付、下記まで。

メール：clean@pop.kcv-net.ne.jp、Fax.049-222-0786、携帯090-2521-5770まで。

トピック⑥ 環境施設めぐり（バスツアー）

社会環境部会

環境学習の一環で、東京都水の科学館を視察し東京都の水への取り組みについて考えます。

併せて、葛西臨海水族園ではマグロの水槽の環境が復活して群雄している姿に期待して、水族館の環境対応の状況を視察いたします。昼食持参

- ・期日：9月5日（土）（雨天決行）
- ・スケジュール

8:00 川越駅西口ウエスタ川越の交流広場集合

8:10 同上を出発～17:30 川越駅に着予定

・行先：東京都水の科学館⇒ゲートブリッジ（バスの中から夢の島公園などを見ます）⇒葛西臨海水族園

- ・定員：先着 35 人
- ・参加費：3,000 円（高校生以下 2,000 円）
- ・申込み：8月3日（月）9時より電話で川越市環境部環境政策課にお申し込みください。電話 049-224-5866

（担当：社会環境部会 菊地、高橋）



東京都水の科学館
（出典：東京都公園協会）

<http://www.mizunokagaku.jp/guidance/>



夢の島公園
（出典：東京都公園協会）

<https://www.tokyo-park.or.jp/profile/>



葛西臨海水族園
（出典：東京ゾーネット）

<http://www.tokyo-zoo.net/>

会合

◆エコプロダクツ川越2015出展実行委員会（会場下見）

日時：7月7日（火）9:00-11:00

場所：環境プラザつばさ館（川越市鯨井782-3）

◆エコプロダクツ川越2015出展実行委員会（ペットボトルロケット試射）

日時：7月10日（金）10:00-11:00

場所：環境プラザつばさ館

●社会環境部会（2015年7月度）

日時：7月10日（金）13:00-15:00

場所：福田ビル3階会議室（川越市郭町1-2-3）

●自然環境部会（2015年7月度）

日時：7月10日（金）15:00-17:00

場所：福田ビル3階会議室

*両部会は、毎月第2金曜日の13:00-15:00、15:00-17:00の連続開催

*次回は8月14日(金)同所

*会員ならばどなたでも参加できます

◆事業運営委員会(2015年度第2回)

日時:7月21日(火)9:00-10:30

場所:福田ビル3階会議室

*次回は8月24日(月)10:00-12:00同所

◆理事会(2015年度第5回)

日時:7月21日(火)10:30-12:00

場所:福田ビル3階会議室

*次回は9月25日(金)10:30-12:00同所

◆広報委員会(2015年7月度)

日時:7月21日(火)12:00-13:00

場所:川越市役所5階フリースペース(川越市元町1-3-1)

*次回は8月24日(月)12:00-13:00同所

●新かわごえアジェンダ21検討会(第4回)

日時:7月24日(金)17:00-19:00

場所:東洋大学川越キャンパス第5会議室(福利厚生棟)(川越市鯨井2100)

*会員であればどなたでも参加できます

*次回は8月28日(金)17:00-19:00同所

◆エコプロダクツ川越2015出展実行委員会(前日準備)

日時:8月1日(土)10:00-12:00

場所:環境プラザつばさ館

自然環境部会主催事業

★「田んぼの生きものしらべ」(一般募集)

日時:7月4日(土)①:10:00-12:00、②:14:30-16:30

場所:①高梨農園(川越市福田439)、②みなみかぜ田んぼ(川越市吉田204-2)

費用:300円

申込:6月8日(月)から環境政策課(同)

★「田んぼの生き物しらべ」(一般募集)

日時:7月5日(日)10:00-12:00

場所:笠幡水田再生プロジェクト田んぼ(川越市笠幡、緯度35.908922,経度139.399254)

申込:6月8日(月)から環境政策課(同)

★「(仮称)川越市森林公園」計画地「キノコの観察会」(一般募集)

日時:7月5日(日)9:00-12:00

集合:南文化会館(ジョイフル)

会費:100円

講師:西田誠之氏、稗島英憲氏

申込:6月5日(金)から環境政策課(049-224-5866)

★池辺公園定例活動(毎月第1火曜日、5月は第2火曜日)

日時:7月7日(火)9:00-12:00

*8月は活動休止

場所:池辺公園(川越市池辺1302)

問い合わせ:菅野

★(仮称)川越市森林公園計画地 植物調査・保全作業(毎月第2・第4月曜日)

日時:7月13・27日(月)9:30-12:30

*8月は活動休止

集合:9:30川越南文化会館(ジョイフル)(川越市今福1295-2)

問い合わせ:賀登(049-234-9366)

★「(仮称)川越市森林公園」計画地「虫の観察会」(一般募集)

日時:7月26日(日)9:00-12:00

集合:川越南文化会館(ジョイフル)

会費:100円

講師:大塚豊氏、谷津弘子氏

申込:7月1日(水)から環境政策課(同)

【予告】 会員・関係団体の主催・関連行事

NPO 法人武蔵丘陵森林公園の自然を考える会

問い合わせ：谷津弘子 (Tel.&Fax.049-224-9118, foresth@nifty.com)

◎森林公園かんさつ会

①7月20日(月・祝) 公園と考える会共催

要項：公園南入口付近(入園前受付) 10:20 集合、15:00 頃終了解散、入園料要(団体扱い)、参加費無料、お弁当持参(レストランもあります)。雨天決行。

今年も、大塚豊さん(日本野鳥の会東京)を講師に、樹液に集まる昆虫(オオムラサキやルリタテハ) やヤマユリ、オオバノトンボソウの花を楽しみます。池では、チョウトンボにも出会えるかもしれません。虫対策のため、できるだけ長そででご参加ください。

②8月2日(日)

要項：公園南口休憩所(入園前受付) 10:20 集合、15:00 頃終了解散、入園料要(団体扱い)、

参加費 200 円、お弁当持参(レストランもあります)。雨天決行。

今年も新井浩司さん(東京蜘蛛談話会)を講師に、園内に生息するクモを観察をします。夏休みの一日、家族連れで参加してみませんか。

◎夜の鳴く虫観察会(公園と考える会共催)

日時：8月22日(土) 16:00-20:00

集合：公園南口休憩所(入園前受付)

今年も少し明るい時間からバッタやコオロギなどの昆虫類を観察します。暗くなりはじめた記念塔付近でクツワムシの鳴き声を楽しみます。講師：大塚さん、和田さん

ペット連れでの参加はご遠慮ください。

「夜の鳴く虫の観察会」の申し込みは、公園管理センター(0493-57-2111)までお願いします。

福原ファームクラブ

問い合わせ：横山三枝子 (Tel.049-246-9319)

◎おいしく・楽しく農業体験

①7月11日(土) 9:30-12:00 ごろ

8月はお休みです。

②9月12日(土) 9:30-12:00 ごろ

場所：明見院(川越市今福 677) 近く

内容：農作業(B級品のお土産付き)

会費：保険代 100 円、クラブ員 1 家族 1,000 円(年間)

2015 年度予定表 () 内は予備日

月	日	活動内容予定
7	11	トウモロコシの収穫作業
9	12	ブロッコリー・キャベツの収穫
10	10	大根畑の片付け・ビニールはがし
11	14	里芋の収穫・芋煮会
12	12	大根収穫他

みなみかぜ いきいきたんぼの会(川越生物多様性有機農法で地域づくりに取り組む会)

問い合わせ：社会福祉法人健友会 地域交流センターみなみかぜ 担当：佐藤 (Tel.049-234-8500[9:00-17:00], Fax.049-239-5646, E-mail: tanbo373@yahoo.co.jp, 350-0807 埼玉県川越市吉田 204-2)

いつからでも、誰でも参加でき、活動の1回体験も可です。農作業では特に団塊世代の仲間を求めています。仲間づくりしませんか?

たんぼ活動でいきいきしたいあなたを求めています

◎農作業

日時：10:00-12:00 毎週火・金・土曜日。地域交流センターに集合。農作業は近隣のたんぼです。農作業日：7月3日(金)、7日(火)、14日(火)、17日(金)、18日(土)、21日(火)、24日(金)、

25日(土)、28日(火)、31日(金)

◎月例会

日時：7月10日(金) 10:00-12:00

場所：地域交流センターみなみかぜ

◎たんぼの生き物しらべ

日時：7月4日(土) 14:30-16:30 (14:00 集合)

◎こなぎ取り(&ざりがに取り・どろんこ遊び)

日時：7月11日(土) 9:00-12:00

かわごえ里山イニシアチブ

問い合わせ：増田純一 (E-mail: kawagoesatoyama@gmail.com, Tel./Fax.049-234-5269)

「かわごえ里山イニシアチブ」では、生物多様性育む田んぼの保全を目的に、みんなで連携して無農薬による米作りを支援し、生きものにぎわいを取り戻す活動を行っています。

吉田、福田、笠幡の各地区の連携田んぼでは、生きもの調査を行います。

◎田んぼの生きものしらべ

日時：①福田 高梨農園 7月4日(土) 10:00-12:00(9:30 集合)、②吉田 みなみかぜ 7月4日(土) 14:30-16:30 (14:00 集合)、③笠幡 東洋大学 7月5日(日) 10:00-12:00 (9:30 集合)

◎第3回有機稲作ポイント研修

日時：7月10日(金) 13:30-16:30 (13:00 受付)
内容・場所：

13:30-14:30 現地研修：田植えした稲の生育診断 (耕福米高梨農園、川越市福田 439)

15:30-16:30 座学：追肥の考え方、追肥の実際(北部ふれあいセンター、川越市山田 1578-1)

講師：稲葉光國氏(民間稲作研究所代表)

参加費：500円

その他：動きやすい服装や長靴をご持参ください。

◎例会(兼拡大事務局会議)

日時：7月25日(土) 16:00-18:00

場所：川越市伊勢原公民館(川越市伊勢原町 5-1)

毎月第4週土曜日の16時から例会を開催しています。広く意見を求めるために趣旨に賛同いただける方ならどなたでも参加可能です。

東洋大学小瀬研究室(こもれびの森・里山支援隊、笠幡水田再生プロジェクト、地域プロジェクト演習)

問い合わせ：小瀬博之 (E-mail: hkose@toyo.jp, Tel./Fax.049-239-1532)

◎笠幡水田再生プロジェクト「田んぼの生きものしらべ」

日時：7月5日(日) 10:00-12:00 (9:30 集合)

◎こもれびの森・里山支援隊

①植物相調査(夏期)(雨天翌日順延)

日時：7月21日(火) 9:00-16:00

集合場所：東洋大学川越キャンパス4号館こもれびの道側入口付近

②森林整備施業

日時：7月25日(土) 9:30-15:00(午前のみ参加可)

経費：500円

③「森林整備施業」と「木工教室」

日時：8月8日(土) 9:30-15:00

経費：500円

*詳細：こもれびの森・里山支援隊 (<http://ameblo.jp/komorebi-satoyama/>)

*中止等案内 (<https://twitter.com/toyokomorebi/>)

◎地域プロジェクト演習「成果報告会」

①霞ヶ関北地区

日時：8月2日(日) 13:00-15:30

場所：霞ヶ関北自治会館(川越市霞ヶ関北 3-12-16)

4年目となる霞ヶ関北地区地域活性化プロジェクト。学生5班21名の発表と来場者間の討論。自由参加・入退場自由。

②川越昭和の街周辺地区

日時：8月3日(月) 18:00-20:30

場所：蓮馨寺講堂(川越市連雀町 7-1)

3年目となる川越昭和の街周辺地区地域活性化プロジェクト。学生6班29名の発表と来場者間の討論。自由参加・入退場自由。

*詳細：川越・鶴ヶ島地域活性化プロジェクト Facebook ページ (<https://www.facebook.com/kawatsurutoyo>)

クリーン&ハートフル川越

問い合わせ：渡辺利衛 (Tel&Fax.049-242-4322) 菊地三生 (Tel.080-5546-2362)

◎「やめましょう！歩きタバコ・ポイ捨て・自転車放置」のゼッケンや「かわごえ環境ネット」の腕章をつけて、まち美化啓発運動

①第1火曜日・第3木曜日

日時：7月7日(火)・16日(木) 13:30-15:00

8月4日(火)・20日(木) 13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から川越市役所まで。

②第2日曜日

日時：7月12日・8月9日(日) 9:30-11:00

本川越駅交番横から各方面に分かれて活動、中央公民館でごみまとめ。

③第4土曜日

日時：7月25日(土) **13:30-15:00** 百万灯夏まつり美化運動で、川越駅から札の辻まで、数方向で。市役所裏のごみ集積場で分別解散。なお、

翌26日は、関係者が講演参加で中止。

日時：8月22日(土) 13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から本川越駅まで。ペペ地下のごみ収集所で分別、解散

◎川の国応援団・新河岸川市内流域の清掃

原則として第4日曜日9時より2時間。参加できる人は、担当箇所分担の割り振りのため、実施日の3日前までに渡辺へご連絡ください。

①7月26日(日) 9:00~11:00

旭橋右岸集合。上流新扇橋、下流川崎橋まで両岸の土手清掃。指定場所にごみを集めて解散。

②8月23日(日) 9:00~11:00

上流部の赤間川公園横集合。氷川橋まで両岸の土手や遊歩道清掃。北公民館にごみ集め解散。

小畔川の自然を考える会

問い合わせ：賀登環 (Tel. 049-234-9366)

◎小畔川水辺再生地の魚類調査

日時：7月19日(日) 10:00-12:00

場所：御伊勢橋下流、旧霞ヶ関北小前

網、ウェダーなどは貸し出しします。お気軽に親子でも参加ください。

公益財団法人 埼玉県生態系保護協会 川越・坂戸・鶴ヶ島支部

問い合わせ：笠原啓一 (Tel.049-222-0957)、当日の携帯電話連絡 (Tel.080-6584-3010)

◎伊佐沼でバードウォッチング(毎月第2日曜日)

集合：伊佐沼西岸蓮見橋 10:00、解散は集合場所で12:00ごろ。持ち物：筆記用具、あれば野鳥図鑑・双眼鏡・飲み物・日除け帽子。参加費：300円、高校生以下100円(保険料・資料代)

①7月12日(日) 10:00-12:00 (小雨決行)

ハスの花が咲き始めました。コアジサシが杭に止まる雛に、今捕まえたばかりの小魚を与えます。カワセミも雛連れで来るでしょう。カル

ガモの雛は、無事に大きく育ったでしょうか今少しで飛べるようになります。

②8月9日(日) 10:00-12:00 (小雨決行)

早くもサギの渡りが始まります。ダイサギ、コサギのほか、普段見られないチュウサギ、アマサギが大きな群れで渡りの途中休んでいきます。カモの仲間で南の地方で越冬するシマアジも昨年は観察しました。

●おことわり 本紙の記事は、各著者の寄稿及び広報委員会の編集によって構成されていますが、これらは、組織の公式な見解を示すものではありません。また、本紙は寄稿及び作成時点までの信頼できる各種情報に基づいて作成し、正確性の確保に努めていますが、その正確性に対してかわごえ環境ネットは責任を負いません。本紙は読者ご自身の判断と責任で利用いただき、本紙を利用することで生じたいかなるトラブルおよび損失、損害に対して、かわごえ環境ネットは一切責任を負いません。

イベントカレンダー (7月1日~8月8日)

日	月	火	水	木	金	土
★: 会員内外対象の公開・出展・後援イベント ●: 会員全員が対象の総会・部会・イベント ◆: 理事・委員等が対象の理事会・委員会 ◎: 会員主催のイベント等 ○: その他 詳細は個別の記事をご覧ください			7/1 ○7/26 虫の観察会受付開始	7/2	7/3 ○8/3-7 気温等観測調査受付開始 ◎10:00 農作業(みなみかぜ)	7/4 ★10:00 田んぼの生き物しらべ(福田) ★14:30 田んぼの生き物しらべ(吉田)
7/5 ★9:00 キノコの観察会 ★10:00 田んぼの生き物しらべ(笠幡)	7/6 ◆9:00 エコプロダクツ川越2015 出展実行委員会	7/7 ◆9:00 エコプロダクツ2015 会場下見 ★9:00 池辺公園定例活動 ◎10:00 農作業(みなみかぜ) ◎13:30 まち美化啓発運動	7/8	7/9	7/10 ◆10:00 エコプロダクツ川越2015 出展実行委員会 ◎10:00 月例会(みなみかぜ) ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	7/11 ◎9:00 コナギ取り(&ざりがり取り・どろんこ遊び) ◎9:30 おいしく楽しく農業体験
7/12 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐召でバードウォッチング	7/13 ★9:30 (仮称)川越市森林公園計画地調査・保全作業	7/14 ◎10:00 農作業(みなみかぜ)	7/15 ○本紙8月号投稿期限	7/16 ◎13:30 まち美化啓発運動 ○郊外クリーン活動参加連絡期限	7/17 ◎10:00 農作業(みなみかぜ)	7/18 ◎10:00 農作業(みなみかぜ)
7/19 ★9:30 夏の郊外クリーン活動 ◎10:00 小畔川水辺再生地の魚類調査	7/20 海の日 ◎10:20 武蔵丘陵森林公園かんさつ会	7/21 ◆9:00 事業運営委員会 ◎9:00 植物相調査(こもれびの森・里山支援隊) ◎10:00 農作業(みなみかぜ) ◆10:30 理事会 ◆12:00 広報委員会	7/22	7/23	7/24 ◎10:00 農作業(みなみかぜ) ●17:00 新かわごえアジェンダ21検討会	7/25 ◎9:30 森林施業(こもれびの森・里山支援隊) ◎10:00 農作業(みなみかぜ) ◎13:30 まち美化啓発運動 ◎16:00 例会(かわごえ里山イニシアチブ)
7/26 ★9:00 虫の観察会 ◎9:00 新河岸川市内流域清掃 ◎13:30 新河岸川景観づくり講演会	7/27 ★9:30 (仮称)川越市森林公園計画地調査・保全作業	7/28 ◎10:00 農作業(みなみかぜ)	7/29	7/30	7/31 ◎10:00 農作業(みなみかぜ)	8/1 ◆10:00 エコプロダクツ川越2015 出展実行委員会
8/2 ★10:00 エコプロダクツ川越2015 ◎10:20 武蔵丘陵森林公園かんさつ会 ◎13:00 霞ヶ関北地区地域活性化プロジェクト成果報告会	8/3 ○9:00 環境施設めぐり受付開始 ◎14:00,20:00 気温等観測調査 ◎18:00 川越昭和の街地区地域活性化プロジェクト成果報告会	8/4 ◎13:30 まち美化啓発運動 ◎14:00,20:00 気温等観測調査	8/5 ◎14:00,20:00 気温等観測調査	8/6 ◎14:00,20:00 気温等観測調査	8/7 ◎14:00,20:00 気温等観測調査	8/8

月刊 かわごえ環境ネット 2015年7月号 No.105

発行日 2015年7月2日 編集・発行 かわごえ環境ネット 広報委員会

事務局 〒350-8601 埼玉県川越市元町1-3-1 川越市環境部環境政策課

Tel. 049-224-5866 (直通) Fax. 049-225-9800 E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp

かわごえ環境ネットホームページ <http://kawagoe.kankyo.net/>